

# 平成 21 年度の新型インフルエンザ(AH1pdm)について

新型インフルエンザ(AH1pdm)は、平成 21 年 4 月に初めてメキシコで確認されました。新型インフルエンザ(AH1pdm)ウイルスは、それまでは豚の間で流行していたウイルスで、人から人への感染が認められるようになってから、短い期間で世界各国に広がりました。

日本では、平成 21 年 5 月に国内で最初の発生例が確認された後、小規模な地域的流行を示し、約 3 ヶ月の小康状態を経て、8 月中旬から半年以上かけて流行しました(図1)。

病原体定点の検出結果をみると、7 月以降に検出されたインフルエンザウイルスは、ほぼ全て AH1pdm ウイルスであることが分かります(図 2)。

図1 インフルエンザの流行状況(全国)

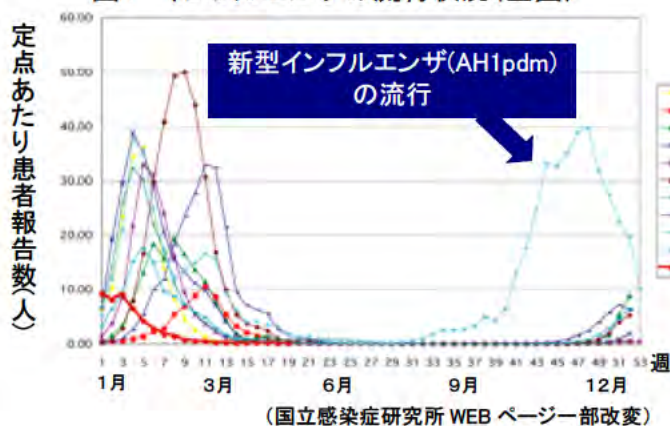
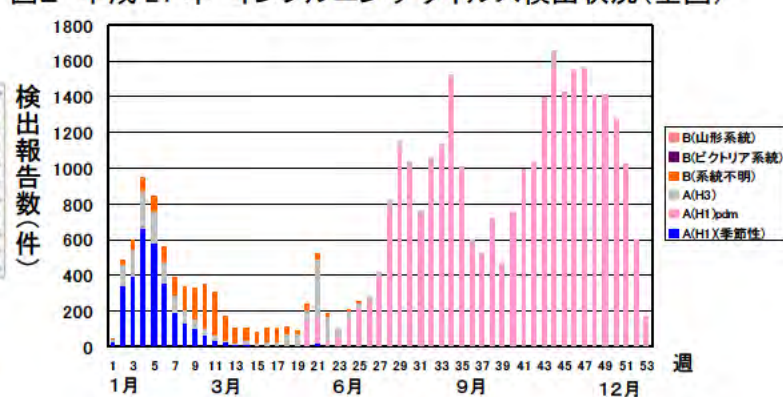
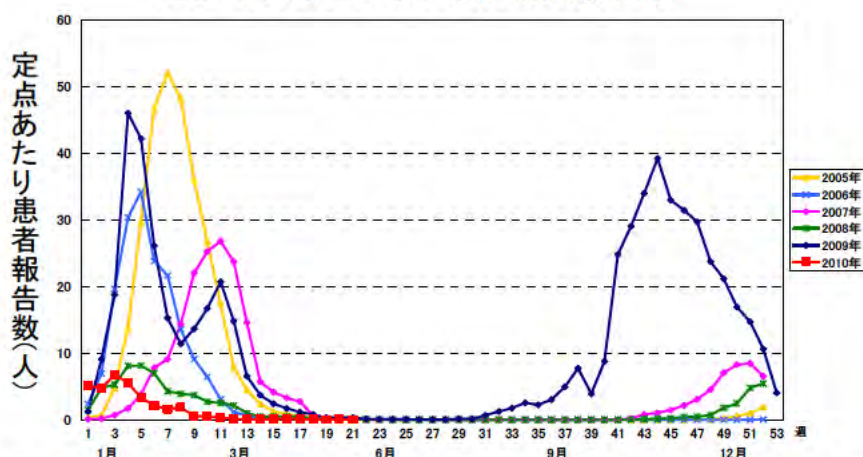


図2 平成 21 年 インフルエンザウイルス検出状況(全国)



横浜市においても、例年より早い第 32 週(8 月 3 日からの週)に流行の目安である定点あたり報告数「1」を超えました。また、第 41 週(10 月 5 日からの週)には注意報レベルである「10」を超え、第 43 週(10 月 19 日からの週)には警報レベル「30」を超えました。さらに、第 44 週(10 月 26 日からの週)には、このシーズン最大の「39.2」を記録しました(図 3)。

図3 インフルエンザの流行状況(横浜市)



現在は、再び小康状態にあると考えられますが、未感染の国民が多く存在すること、過去の新型インフルエンザの大流行の経験などから、今後、再流行が生じる可能性も考えられます。また、過去の新型インフルエンザの経験からも、次の流行では、ウイルスの特性が変化する可能性もあります。

新型インフルエンザ(AH1pdm)については、今後も最新の情報に注意していく必要があります。

ここでは、平成 21 年度の新型インフルエンザ(AH1pdm)についてまとめるとともに、最新の情報を得るための WEB ページを紹介します。

## 1 新型インフルエンザ(AH1pdm)の流行状況

### (1) 国内の流行状況

新型インフルエンザ(AH1pdm)は、平成 21 年 5 月に国内発生の患者が確認されてから、7 月 24 日まで全ての患者数を把握していました。国内での散発事例がみられるようになった 7 月 24 日からは、個々の発生例でなく、集団発生を捕捉する「クラスターサーベイランス」と AH1pdm による入院患者を把握する「インフルエンザ入院サーベイランス」、従来の感染症発生動向調査による「インフルエンザサーベイランス(定点)」に切り替えられました。クラスターサーベイランスは平成 22 年 3 月 29 日に当面休止とされ、インフルエンザ入院サーベイランスは同日、重症患者のみを把握する「インフルエンザ重症サーベイランス」へ移行しています。

従来から、インフルエンザが流行する時期に、保育所、幼稚園、小学校、中学校でインフルエンザ様の疾患による休校や学年閉鎖、学級閉鎖があった場合には、「インフルエンザ様疾患発生報告」でその数が報告されています。AH1pdm の国内発生を受けて、平成 21 年 5 月 22 日、報告対象に「高等学校」が加わりました。さらに、7 月 24 日からは、報告の通年実施が指示されています。

また、インフルエンザの抗原性や抗インフルエンザウイルス薬への感受性等を調べるために、感染症発生動向調査による「ウイルスサーベイランス」が従来から実施されており、AH1pdm の国内発生後も、運用されています。

現在は、インフルエンザサーベイランス(定点)とインフルエンザ重症サーベイランス、インフルエンザ様疾患発生報告、ウイルスサーベイランスが運用されています。

#### < 厚生労働省 WEB ページ >

- ・ 新型インフルエンザの発生動向～医療従事者向け疫学情報～ Ver.3

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/pdf/100423-01.pdf>

#### < 国立感染症研究所 WEB ページ >

- ・ パンデミック(H1N1)2009 感染症情報センター(IDSC)による情報

[http://idsc.nih.go.jp/disease/swine\\_influenza/swine-idscup.html](http://idsc.nih.go.jp/disease/swine_influenza/swine-idscup.html)

- ・ 学校欠席者数(インフルエンザ様疾患発生報告)

(2009/10 シーズン) <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/infreport/report.html>

(2008/09 シーズン) <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/infreport/report08-09.html>

- ・ インフルエンザウイルス分離・検出速報 2009/2010 シーズン

<http://idsc.nih.go.jp/iasr/influ.html>

#### < 横浜市衛生研究所 WEB ページ >

- ・ 横浜市インフルエンザ流行情報(2009/2010 シーズン)

[http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/idsc/rinji/influenza/influenza\\_rinji\\_index2009.html](http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/idsc/rinji/influenza/influenza_rinji_index2009.html)

### (2) 海外の流行状況

#### < 国立感染症研究所 WEB ページ >

- ・ パンデミック(H1N1)2009 WHO による情報

[http://idsc.nih.go.jp/disease/swine\\_influenza/swine-whoup.html](http://idsc.nih.go.jp/disease/swine_influenza/swine-whoup.html)

#### < FORTH 厚生労働省検疫所 WEB ページ >

- ・ パンデミックインフルエンザの世界的な流行について

[http://www.forth.go.jp/01\\_topics/fragment4.html](http://www.forth.go.jp/01_topics/fragment4.html)

#### < WHO WEB ページ > (英語)

- ・ Situation updates - Pandemic (H1N1) 2009

<http://www.who.int/csr/disease/swineflu/updates/en/index.html>

## 2 インフルエンザの流行状況(季節性インフルエンザを含む)

季節性インフルエンザを含む、インフルエンザの流行状況は、感染症発生動向調査により把握されています。新型インフルエンザ(AH1pdm)についても、平成 21 年 7 月 24 日に全数把握から、感染症発生動向調査の患者定点把握に切り替えられています。

また、保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校において、インフルエンザ様の疾患で、休校や学年閉鎖、学級閉鎖があった場合には、インフルエンザ様疾患発生報告でその数が報告されています。

### < 国立感染症研究所 WEB ページ >

- ・ インフルエンザ 過去 10 年の比較グラフ(感染症発生動向調査週報)

<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/weeklygraph/01flu.html>

- ・ 学校欠席者数(インフルエンザ様疾患発生報告)

<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/infreport/report.html>

### < 横浜市衛生研究所 WEB ページ >

- ・ 感染症発生動向調査週報一覧

[http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/idsc/surveillance/kansen\\_khama.html](http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/idsc/surveillance/kansen_khama.html)

- ・ インフルエンザ 過去 5 年の比較グラフ(感染症発生動向調査週報)

<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/idsc/surveillance/grafu/Page1.htm>

## 3 新型インフルエンザ(AH1pdm)のワクチン情報

新型インフルエンザ(AH1pdm)のワクチンについては、流行のピークまでに十分なワクチン量を製造できないことが懸念され、接種の優先順位や接種回数、輸入ワクチンが問題になりました。

平成 22 年 2 月に、WHO は 2010/2011 シーズンのインフルエンザワクチンの推奨株(北半球)を発表しました。推奨株には、AH1pdm の A/カリフォルニア/7/2009 類似株、A 香港型の A/パース/16/2009 類似株、B 型の B/ブリスベン/60/2008 類似株が挙げられています<sup>1)</sup>。

日本では、国立感染症研究所が WHO の推奨株を参考に、実際にワクチンに使用するウイルス株を決定します。

2009/2010 シーズンでは、AH1pdm ワクチンと季節性インフルエンザワクチンは別々に製造され、接種されましたが、2010/2011 シーズンに AH1pdm 株も季節性インフルエンザワクチンに組み込まれると、接種回数は前シーズンに比べ、少なくなります。

インフルエンザワクチンの予防効果が期待できるのは、接種後 2 週間から 5 か月程度といわれています<sup>2)</sup>。インフルエンザの流行状況などを参考にしながら、接種時期を検討する必要があります。

AH1pdm ワクチンについては、副作用の情報などについても蓄積されつつあります。厚生労働省の WEB ページなどから、情報収集をすることが可能です。

### < 厚生労働省 WEB ページ >

#### ワクチン関連情報

[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/inful\\_vaccine.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/inful_vaccine.html)

- ・ 新型インフルエンザワクチン Q&A

[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/inful\\_vaccine\\_ga.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/inful_vaccine_ga.html)

- ・ 副反応報告の状況

[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/inful\\_rireki.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/inful_rireki.html)

### < 国立感染症研究所 WEB ページ >

- ・ パンデミック(H1N1)2009 インフルエンザ Q&A(専門家向け)

- インフルエンザのワクチン接種と予防接種法関係に関する質問 -

[http://idsc.nih.go.jp/disease/swine\\_influenza/QAFlu09.html](http://idsc.nih.go.jp/disease/swine_influenza/QAFlu09.html)

< 横浜市衛生研究所 WEB ページ >

- ・ 新型インフルエンザ(AH1pdm)のワクチンについて

[http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/idsc/hazard/influenza\\_new/influenza\\_ah1pdm\\_vaccine.html](http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/idsc/hazard/influenza_new/influenza_ah1pdm_vaccine.html)

< 横浜市保健所 WEB ページ >

- ・ 新型インフルエンザワクチン関連情報

<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hokenjo/genre/kansensyo/influvac.html>

#### 4 行動計画・ガイドライン

AH1pdm に限らず、H5N1 など、新型インフルエンザの発生段階に応じて、国や自治体などが、どう行動すべきか(対策の考え方、関係部署の対応、関係部署間の連携・協力などの方針)を示したものを「行動計画」と言います。

また、行動計画に挙げられた対策について、より具体的に、国や自治体、企業、家庭、地域などが何をすべきかを示したものを「ガイドライン」と言います。

国においては、平成 17 年 12 月、新型インフルエンザ対策を迅速かつ確実に講じるため、「WHO Global Influenza Preparedness Plan(WHO 世界インフルエンザ事前対策計画)」に準じて、「新型インフルエンザ対策行動計画」が策定されました。新型インフルエンザ対策行動計画は、平成 21 年 2 月に大幅に改定され、それに伴い、国民各層での取り組みを推進することを目指し、「新型インフルエンザガイドライン」が策定されました。

横浜市においても、平成 17 年 12 月に、国の策定を受けて「横浜市新型インフルエンザ対策行動計画」が策定されました。また、平成 21 年に改定された国の行動計画と新型インフルエンザガイドラインの内容を一部取り込む形で、平成 22 年 5 月に改定されています。

< 厚生労働省 WEB ページ >

- ・ 新型インフルエンザ対策行動計画・ガイドライン

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/13.html>

< 横浜市保健所 WEB ページ >

- ・ 横浜市新型インフルエンザ対策行動計画

<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hokenjo/genre/kansensyo/pdf/koudoukeikaku.pdf>

#### 5 新型インフルエンザ(A/H1N1)対策総括会議

平成 21 年 4 月から新型インフルエンザ(AH1pdm)に対して厚生労働省が実施してきた対策の経緯と課題から、今後に向けての教訓を取りまとめ、提言を行うために、平成 22 年 3 月、厚生労働省において「新型インフルエンザ(A/H1N1)対策総括会議」が開かれました。当会議は、有識者 11 人が構成員となり、合計 7 回開催されました。

会議の資料や議事録などは、厚生労働省の WEB ページで見ることが可能です。

< 厚生労働省 WEB ページ >

- ・ 新型インフルエンザ(A/H1N1)対策総括会議

[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/info\\_local.html#section01](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/info_local.html#section01)

#### 6 参考文献

1) Recommended viruses for influenza vaccines for use in the 2010–2011 northern hemisphere influenza season: Weekly epidemiological record(WER)No.10,2010,85,81-92

<http://www.who.int/wer/2010/wer8510.pdf>

2) 予防接種に関する Q&A 集 2009:細菌製剤協会

[http://www.wakutin.or.jp/qanda/qa2009\\_08.pdf](http://www.wakutin.or.jp/qanda/qa2009_08.pdf)

【感染症・疫学情報課】